

宮川流域下水道（宮川処理区）

宮川浄化センターの維持管理

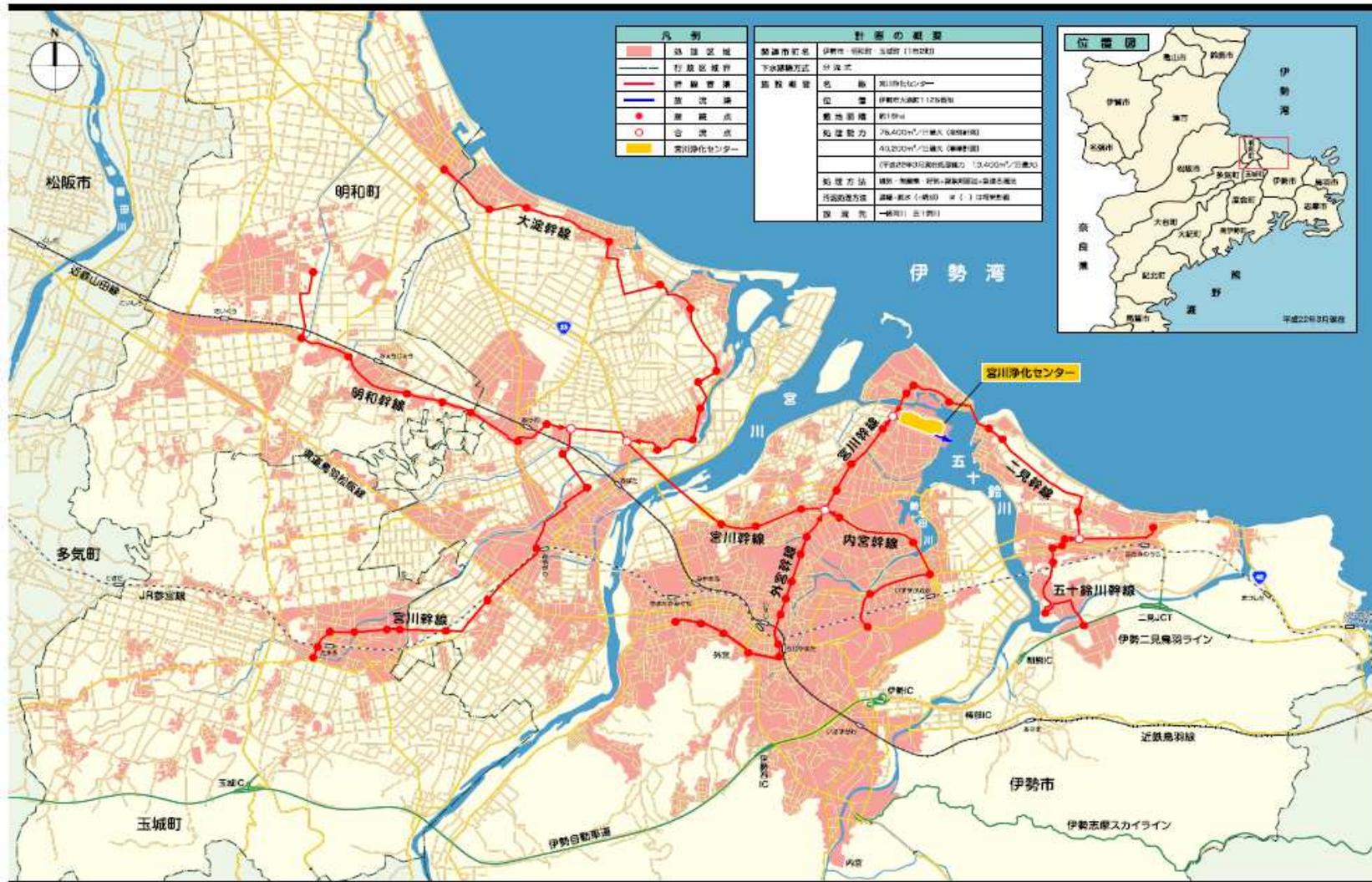
- (1) 施 設 配 置 図
- (2) 幹 線 管 渠 状 況 図
- (3) 施 設 計 画 と 現 況
- (4) 設 備 概 要
- (5) 処 理 フ ロ ー
- (6) 水 質 管 理 状 況
- (7) 汚 水 処 理 水 量
- (8) 電 力 ・ 水 道 ・ 薬 品 ・ 燃 料
- (9) 汚 泥 脱 水 処 理
- (10) 施 設 点 検 業 務 の 概 要
- (11) 水 質 試 験 業 務
- (12) 周 辺 環 境 調 査

(2)宮川処理区幹線管渠状況図

(供用開始延長:累計延長)

8幹線	管径150~1,650mm	総延長	46.8km
-----	---------------	-----	--------

幹線名	宮川	内宮	外宮	二見	明和	大淀	五十鈴川	放流渠	計
管径(mm)	1,650 ~800	1,000 ~600	1,000 ~900	800 ~300	800 ~300	600 ~150	440 ~150	1,500 ~1,350	
延長(km)	14.0	3.8	4.6	6.2	6.3	9.3	2.5	0.1	46.8
H26年度末	(100.00%) 14.0	(5.26%) 0.2	(100.00%) 4.6	(100.00%) 6.2	(26.98%) 1.7	(0.00%) 0.0	(32.00%) 0.8	(100.00%) 0.1	(58.97%) 27.6



(3) 施設計画と現況

形状区分 名称	形状寸法	全体計画	平成26年度末現在		
			土木建築	機械電気	摘要
スクリーン	水路幅1.5m	2水路	2水路	1水路	
初期用ポンプ	3.0m ³ /min	1台	—	1台	
主ポンプ	12.0m ³ /min	2台	—	2台	
	14.0m ³ /min	2台	—	1台	
	25.0m ³ /min	2台	—	—	
最初沈殿池	L= 19.0m W=3.9m 有効水深 3.0m	8池	8池	8池	
	L= 19.0m W=4.9m 有効水深 3.0m	4池	—	—	
	L= 19.0m W=4.4m 有効水深 3.0m	4池	—	—	
反応槽(嫌気槽)	L= 9.0m W=8.0m 有効水深 5.5m	4池	4池	4池	
	L= 9.0m W=10.0m 有効水深 5.5m	2池	—	—	
	L= 8.7m W=9.0m 有効水深 5.5m	4池	—	—	
反応槽(無酸素)	L= 45.0m W=8.0m 有効水深 5.5m	4池	4池	4池	
	L= 47.1m W=10.0m 有効水深 5.5m	2池	—	—	
	L= 46.5m W=9.0m 有効水深 5.5m	4池	—	—	
反応槽(好気槽)	L= 45.0m W=8.0m 有効水深 5.5m	4池	4池	4池	
	L= 45.3m W=10.0m 有効水深 5.5m	2池	—	—	
	L= 46.5m W=9.0m 有効水深 5.5m	4池	—	—	
最終沈殿池	L= 47.0m W=3.9m 有効水深 3.5m	8池	8池	8池	
	L= 47.0m W=4.9m 有効水深 3.5m	4池	—	—	
	L= 47.0m W=4.4m 有効水深 3.5m	4池	—	—	
急速ろ過池 (砂ろ過池)	10m ²	1池	1池	1池	
	15m ²	1池	1池	1池	
	25m ²	5池	3池	3池	
	30m ²	4池	—	—	
塩素混和池	L= 81.3m W=3.0m 有効水深2.5m	2池	1池	1池	
次亜塩素酸ソーダ 貯留槽	5m ³	4槽	—	1槽	
送風機	29m ³ /min	2台	—	2台	
	51m ³ /min	1台	—	1台	
	60m ³ /min	2台	—	1台	
汚泥重力濃縮タンク	φ 7.5m H 4.0m	3槽	1槽	1槽	
脱水機	造粒調質式ベルトプレス ろ布幅 1.5m ろ過速度 180kgDS/m/h	4台	—	3台	
自家発電機	2,000kVA ガスタービン	2台	—	1台	
幹線管渠	φ 150mm～φ 1,650mm	46.8km	27.6km	—	
放流渠	φ 1,350mm～φ 1,500mm	0.1km	0.1km	—	

(4)設備概要

施設	設備	機器名	規格又は仕様	電気容量 (kw)	台数
スクリーンポンプ施設	スクリーン設備	No.1,2SP棟流入ゲート	外ネジ式鋳鉄製電動ゲート、800W×1500H	5.5	2
		No.1,2粗目スクリーン	鋼製バースクリーン目幅100mm×取付角度90°	—	2
		粗目スクリーン吊上装置	電動式チェーンブロック、2ton×9m	1.7	1
		No.1細目スクリーン除塵機	連続式自動除塵機目幅20mm×取付角度70°	2.2	1
		No.1,2ポンプ井流入ゲート	外ネジ式鋳鉄製手動ゲート、800W×1500H	—	2
		ポンプ井連通ゲート	外ネジ式鋳鉄製手動ゲート、1200W×1200H	—	1
		No.1スクリーンかす搬出機	トラフ形ベルトコンベヤ 600W×10500L	1.5	1
		スクリーンかす洗浄機	機械攪拌式、1m3/時	3.7+0.75	1
		スクリーンかす脱水機	スクリュー式、1ton/時	5.9	1
		No.2スクリーンかす搬出機	耳棧横棧付垂直ベルトコンベヤ 幅610×水平6.6m垂直28.35m	7.5	1
		スクリーンかす用ホッパ	電動カットゲート式ホッパ、5m3	0.75×2	1
		No.1ポンプ井攪拌機	水中プロペラ式、500Φ	7.4	1
		No.1ポンプ井攪拌機吊上装置	手動式ギヤードトローリ式チェーンブロック、0.5ton×9m	—	1
		No.1搬入用ホイスト	電動トローリ付ホイスト、2.9ton×19m	4.0+0.75	1
		No.2搬入用チェーンブロック	電動式チェーンブロック、2.9ton×13m	3.4+0.75	1
		砂ろ過水切替弁(スクリーン)	電動ボール弁、125Φ	85W	1
		SP棟給水ユニット	圧力式自動給水ユニット 65Φ×410L/分×44m	7.5	1
		雨水排水槽	鋼板製角形槽、1m3	—	1
		雨水排水ポンプ	無閉塞形汚泥ポンプ 80Φ×0.15m3/分×14m	2.2	1
		維持管理用ホイスト	電動トローリ付ホイスト、1ton×35m	3.5+0.75	1
		脱臭設備	スクリーン室脱臭ファン	片吸込ターボファン 56m3/分×1.96kPa	3.7
	スクリーン室脱臭装置		添着活性炭吸着塔、40m3/分	—	1
	SP棟搬出室脱臭ファン		片吸込ターボファン 44m3/分×1.96kPa	3.7	1
	SP棟搬出室脱臭装置		添着活性炭吸着塔、44m3/分	—	1
	SP棟搬出室脱臭切替ダンパ		電動ダンパ、350×350	0.04	1
	活性炭搬出用クレーン(スクリーン)		手動式ギヤードトローリ付、1ton×5.5m	—	1
	主ポンプ設備	No.1～2主ポンプ	立軸渦巻斜流ポンプ 350Φ×12m3/分×27m	—	2
		No.1～2主ポンプ用電動機	かご形三相誘導、6P、90kW	90.0	2
		No.1～2主ポンプ吐出弁	外ネジ式電動仕切弁、350Φ	1.5	2
		No.3主ポンプ	立軸渦巻斜流ポンプ 350Φ×14m3/分×27m	—	1
		No.3主ポンプ用電動機	かご形三相誘導、6P、110kW	110.0	1
		No.3主ポンプ吸込弁	外ネジ式手動仕切弁、450Φ	—	1
		No.3主ポンプ吐出弁	外ネジ式電動仕切弁、450Φ	1.5	1
ポンプ井排水ポンプ		吸込スクリュー付汚水ポンプ 200Φ×3m3/分×26m	37.0	1	
No.1,2床排水ポンプ(ポンプ室)		脱着式水中汚水ポンプ 65Φ×0.3m3/分×13m	1.5	2	
床排水ポンプ吊上装置(ポンプ室)		手動式チェーンブロック、0.5ton×2.5m	—	1	
天井クレーン		手動走行式クレーン(チェーンブロック式)、5ton×22m	—	1	
維持管理用チェーンブロック		電動式チェーンブロック、2.9ton×21m	3.0	1	
砂ろ過水切替弁(ポンプ)		電動式ボール弁、125Φ	85W	1	
ポンプ室軸封水用処理水槽		FRP製、5m3	—	1	
ポンプ室軸封水用給水ユニット		圧力式自動給水ユニット40Φ×80L/分×55m	3.7	1	
No.1,2汚水管仕切弁		手動バタ弁、600Φ	—	2	
汚水管連通弁		手動バタ弁、900Φ	—	1	
水処理施設		分配槽設備	No.1,2分配槽攪拌機	水中プロペラ式(浮遊式)、113Φ	2.2
	No.1,2分配槽攪拌機吊上装置		手動式ギヤードトローリ無し、0.5ton×3m	—	2
	No.1-1～2-2床排水ポンプ(管理本館～SP棟)		脱着式水中汚水ポンプ 65Φ×0.3m3/分×8m	1.5	4
	No.1,2床排水ポンプ吊上装置(管理本館～SP棟)		手動式、0.5ton×2.5m	—	2
	西側植樹用給水ユニット		圧力式自動給水ユニット40Φ×0.23m3/分×46m	3.7	1
	最初沈殿池設備	1系No.1初沈バイパスゲート	手動式鋳鉄製外ねじ式、800W×600H	—	1
		1系No.1-1～4-2初沈流入可動堰	手動式鋳鉄製外ねじ式、400W×400H	—	8
		1系No.1-1～4-2初沈汚泥掻寄機	チェーンライト式、3900W×19000L	0.4	8
		1系No.1-1～4-2初沈スカムスキマ	電動式パイプスキマ、300Φ	0.13	8

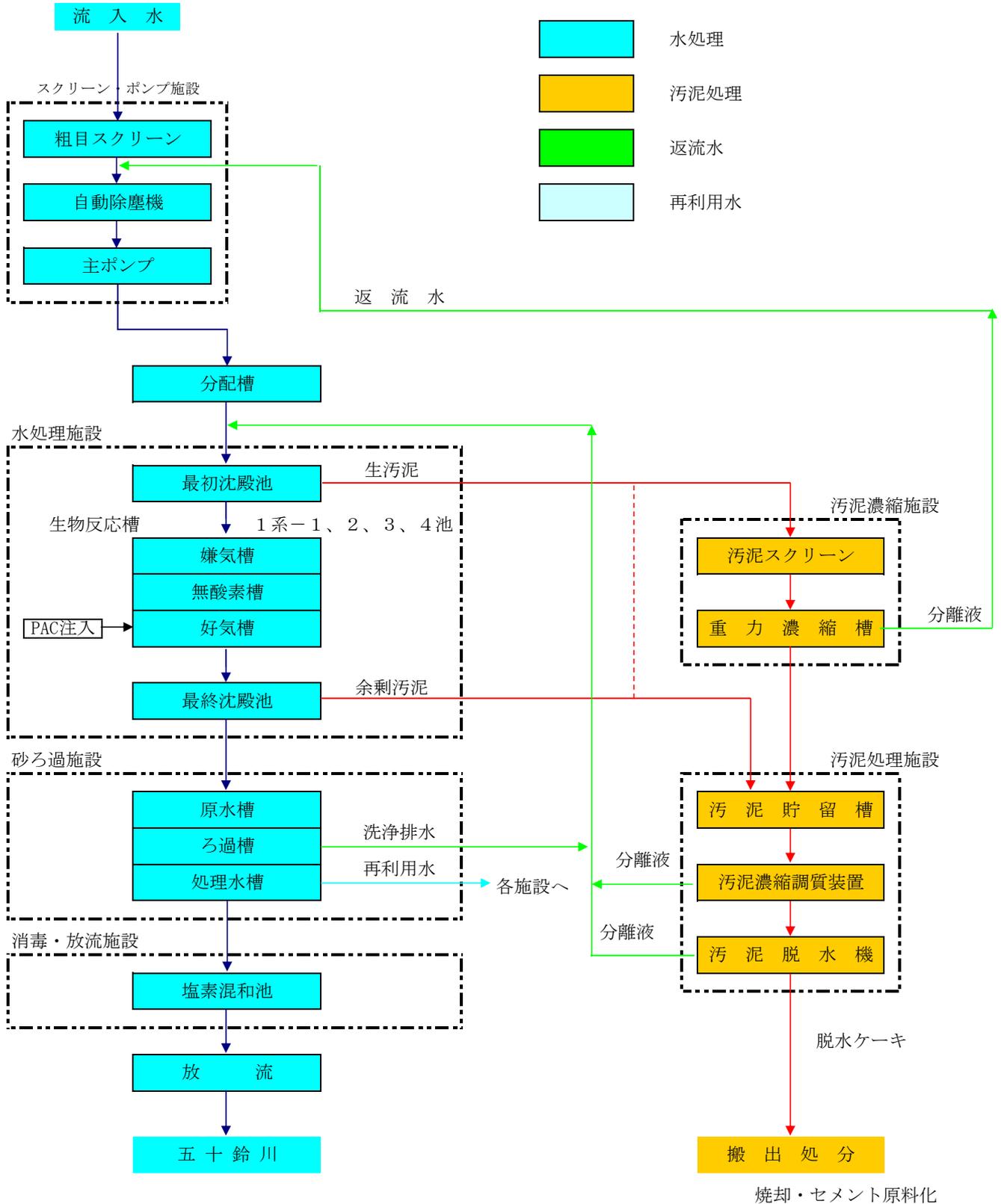
水 処 理 施 設	最 初 沈 殿 池 設 備	1系No.1-1~4-2初沈汚泥引抜弁	空気作動偏心構造弁、150Φ	—	8	
		1系No.1-1,1-2初沈汚泥ポンプ	吸込スクルー付汚泥ポンプ、100Φ×1m3/分×17m	7.5	2	
		1系No.1-1,1-2初沈スカム移送ポンプ	吸込スクルー付汚泥ポンプ、100Φ×1m3/分×19m	7.5	2	
		1系No.1初沈スカム戻り弁	空気作動偏心構造弁、150Φ	—	1	
		1系No.1初沈スカム移送弁	空気作動偏心構造弁、150Φ	—	1	
		1系初沈排水ポンプ	吸込スクルー付汚泥ポンプ、100Φ×1m3/分×8m	3.7	1	
		1系No.1床排水ポンプ(初沈)	着脱式水中汚水ポンプ、65Φ×0.3m3/分×13m	2.2	1	
		1系No.1,2空気源装置(初沈)	圧力スイッチ式、120L/分×0.83MPa	1.5	2	
		1系No.1,2空気源装置(終沈)	圧力スイッチ式、120L/分×0.83MPa	1.5	2	
		1系空気槽(初沈)	立形円筒槽、1m3	—	1	
		1系空気槽(終沈)	立形円筒槽、1m3	—	1	
		1系除湿器(初沈)	冷凍式、120L/分	0.4	1	
		1系除湿器(終沈)	冷凍式、120L/分	0.4	1	
		1系No.1初沈引抜弁用電磁弁箱	SUS製、電磁弁8個収納(全8個収納)	8W	1	
		1系No.1初沈スカム切替弁用電磁弁箱	SUS製、電磁弁2個収納	8W	1	
		反 応 槽 設 備	1系No.1反応槽バイパスゲート	手動式鋳鉄製外ねじ式、800W×600H	—	1
			1系No.1バイパス水路仕切ゲート	手動式鋳鉄製外ねじ式、800W×600H	—	1
			1系No.1~4反応槽流入調整弁	電動偏心構造弁、350Φ	0.8	4
			1系No.1~4嫌気槽攪拌機	水中機械式、8000W×9000L×5500H	3.7	4
			1系No.1-1~4-5無酸素槽攪拌機	水中機械式、8000W×9000L×5500H	3.7	20
1系No.1-1~1-4好気槽攪拌機	水中機械式、8000W×9000L×5500H		3.7	4		
1系No.1好気槽散気装置	全面曝気式、8000W×9000L×5500H、有効発泡面積比3.57%		—	1		
1系No.2~4好気槽散気装置	ムフレンパネル式、8000W×9000L×5500H		—	3		
1系No.1-1~1-2反応槽仕切ゲート	手動式鋳鉄製外ねじ式、500W×500H		—	2		
初期用循環ポンプ	着脱式水中汚水ポンプ、100Φ×1.8m3/分×5m		5.5	1		
1系No.1-1~4-4循環ポンプ	吸込スクルー付汚泥ポンプ、200Φ×3.7(4.0)m3/分×5.5m		5.5(7.5)	4+4		
1系No.1~4曝気用空気調整弁	電油操作式蝶形弁、200Φ		0.4	4		
1系No.1-1~3-2床排水ポンプ(反応槽)	着脱式水中汚水ポンプ、65Φ×0.3m3/分×13m		2.2	6		
1系床排水ポンプ(送気管ピット)	着脱式水中汚水ポンプ、65Φ×0.3m3/分×13m		2.2	1		
No.1水中攪拌機吊上装置	手動式、1ton×4m		—	1		
最 終 沈 殿 池 設 備	1系No.1-1~4-2終沈流入ゲート		手動式鋳鉄製外ねじ式、400W×400H	—	8	
	1系No.1-1~4-2終沈汚泥搔寄機		チェーンフライト式、3900W×47000L	0.4	8	
	1系No.1-1,1-2終沈スカムスキマ(前段)	手動式パイプスキマ、300Φ	—	2		
	1系No.2-1~4-2終沈スカムスキマ(前段)	電動式パイプスキマ、300Φ	0.13	6		
	1系No.1-1~4-2終沈スカムスキマ(後段)	電動式パイプスキマ、300Φ	0.13	8		
	1系No.1-1~4-2終沈汚泥引抜弁	空気作動偏心構造弁、200Φ	—	8		
	1系No.1~4返送汚泥ポンプ	吸込スクルー付汚泥ポンプ、250Φ×5.7(5.5)m3/分×8(6)m	15(11)	2+1+1		
	1系No.1-1,1-2余剰汚泥ポンプ	吸込スクルー付汚泥ポンプ、100Φ×0.9m3/分×15.5m	5.5	2		
	1系No.1-1,1-2終沈スカム移送ポンプ	吸込スクルー付汚泥ポンプ、100Φ×1m3/分×19m	7.5	2		
	1系No.1終沈スカム戻り弁	空気作動偏心構造弁、150Φ	—	1		
	1系No.1終沈スカム移送弁	空気作動偏心構造弁、150Φ	—	1		
	1系終沈排水ポンプ	吸込スクルー付汚泥ポンプ、150Φ×3m3/分×14m	15.0	1		
	1系No.1終沈引抜弁用電磁弁箱	SUS製、電磁弁8個収納(全8個収納)	8W	1		
	1系No.1終沈スカム切替弁用電磁弁箱	SUS製、電磁弁2個収納	8W	1		
	1系No.1,2-1,2-2床排水ポンプ(終沈)	着脱式水中汚水ポンプ、65Φ×0.3m3/分×13m	2.2	3		
	1系No.1床排水ポンプ吊上装置(初沈)	手動式、0.5ton×4m	—	1		
	1系No.1~3床排水ポンプ吊上装置(反応槽)	手動式、0.5ton×2.5m	—	3		
	1系床排水ポンプ吊上装置(送気管ピット)	手動式、0.5ton×4m	—	1		
	1系No.1,2床排水ポンプ吊上装置(終沈)	手動式、0.5ton×4m×1台、0.5ton×2.5m×1台	—	2		
	1系No.1,2終沈汚泥引抜管仕切弁	手動仕切弁、400Φ	—	2		
	薬 注 設 備	1系No.1,2PAC貯留タンク	FRP製円筒タンク、7m3	—	2	
1系No.1~4,9PAC注入ポンプ		ダイヤフラム式、25Φ×0.349(0.406)~0.643(0.777)L/分×0.2MPa	0.4	4+1		
脱 臭 設 備	No.1水処理脱臭ファン	片吸込ターボファン、58m3/分×2.8kPa	5.5	1		
	No.2水処理脱臭ファン	片吸込ターボファン、49m3/分×2.8kPa	5.5	1		
	No.3水処理脱臭ファン	片吸込ターボファン、90m3/分×2.8kPa	7.5	1		

水処理施設	脱臭設備	No.1水処理脱臭装置	添着活性炭吸着塔、58m ³ /分	—	1
		No.2水処理脱臭装置	添着活性炭吸着塔、49m ³ /分	—	1
		No.3水処理脱臭装置	添着活性炭吸着塔、90m ³ /分	—	1
		No.1活性炭搬出入クレーン(水処理)	手動式ギヤードトロッ付、1ton×5m	—	1
		No.2活性炭搬出入クレーン(水処理)	手動式ギヤードトロッ付、1ton×5m	—	1
ブロワ棟	ブロワ設備	湿式空ろ過器(第1ブロワ棟)	回転油膜式湿式空ろ過器、313m ³ /分	0.2	1
		乾式空ろ過器(第1ブロワ棟)	自動巻取り型乾式空ろ過器、313m ³ /分	0.2	1
		No.1,2ブロワ(第1ブロワ棟)	ルーツ形(水冷式)、200Φ×29m ³ /分×67(64)kPa	75.0	1+1
		No.1,2ブロワ放風弁(第1ブロワ棟)	電油操作式蝶形弁、65Φ	0.4	2
		No.3ブロワ(第1ブロワ棟)	歯車増速単段ターボ形(水冷式)、200Φ×51m ³ /分×67kPa	90.0	1
		No.3ブロワ吐出弁(第1ブロワ棟)	電動外ねじ仕切り弁、200Φ	0.75	1
		No.3ブロワ放風弁(第1ブロワ棟)	電油操作式蝶形弁、150Φ	0.4	1
		No.4ブロワ(第1ブロワ棟)	歯車増速単段ターボ形(水冷式)、200Φ×60m ³ /分×67kPa	110.0	1
		No.4ブロワ吐出弁(第1ブロワ棟)	電動外ねじ仕切り弁、250Φ	0.75	1
		No.4ブロワ放風弁(第1ブロワ棟)	電油操作式蝶形弁、150Φ	0.4	1
		No.1,2空気弁(A)	手動式バタフライ弁、700Φ	—	2
		空気弁(B)	手動式バタフライ弁、600Φ	—	1
		空気弁(C)	手動式バタフライ弁、450Φ	—	1
		No.1,2冷却水ポンプ(第1ブロワ棟)	形吸込渦巻ポンプ、65Φ×0.35m ³ /分×16m	2.2	2
		ブロワ点検用クレーン(第1ブロワ棟)	手動式(チェンブロック式)、3.5ton×12m	—	1
		No.1,2-1,2-2床排水ポンプ(第1ブロワ棟)	着脱式水中汚水ポンプ、65Φ×0.3m ³ /分×7m	1.5	3
		No.2-1,2-2床排水ポンプ吊上装置(第1ブロワ棟)	手動式、0.5ton×2.5m	—	2
		砂ろ過水切替弁(第1ブロワ棟)	電動ボール弁、80Φ	23W	1
砂ろ過施設	砂ろ過設備	No.1,2砂ろ過設備流入ゲート	手動式鋳鉄製外ねじ式、600W×1200H	—	2
		1系No.1高度処理スクリーン	1000W×2700H×目幅3mm	0.4	1
		No.1,2原水槽流入ゲート	手動式鋳鉄製外ねじ式、600W×1200H	—	2
		1系原水槽連絡ゲート	手動式鋳鉄製外ねじ式、600W×600H	—	1
		1系No1砂ろ過設備バイパスゲート	手動式鋳鉄製外ねじ式、900W×1300H	—	1
		1系No2砂ろ過設備バイパスゲート	手動式鋳鉄製外ねじ式、1100W×1000H	—	1
		1系No.1,2原水槽流出ゲート	手動式鋳鉄製外ねじ式、900Φ	—	2
		1系No.1原水ポンプ	横軸渦巻斜流ポンプ、300Φ×12m ³ /分×10m	30.0	2
		1系No.2原水ポンプ	横軸渦巻斜流ポンプ、350Φ×20m ³ /分×10m	55.0	1
		1系No.1原水ポンプ吐出弁	電動バタ弁、300Φ	0.2	2
		1系No.2原水ポンプ吐出弁	電動バタ弁、400Φ	0.2	1
		1系No.2原水ポンプ吸込弁	手動仕切弁、400Φ	—	1
		1系No.2原水ポンプ逆止弁	緩閉式逆止弁、400Φ	—	1
		1系No.3~4原水ポンプ吸込弁	手動仕切弁、500Φ	—	2
		1系No.1,2原水管止水弁	手動バタ弁、700Φ	—	2
		1系原水戻り弁	電動バタ弁、250Φ	0.2	1
		1系No.1~4調圧水槽可動堰	手動式鋳鉄製外ねじ式、800W×600H	—	4
		1系No.1-1砂ろ過池	上向流移床型、10m ²	—	1
		1系No.1-2砂ろ過池	上向流移床型、15m ²	—	1
		1系No.2~4砂ろ過池	上向流移床型、25m ³	—	3
		1系砂ろ過池バイパスゲート	手動式鋳鉄製外ねじ式、1000Φ	—	1
		1系No.1~2未消毒水槽流入ゲート	手動式鋳鉄製外ねじ式、800W×800H	—	2
		1系No.1~2処理水槽流入ゲート	手動式鋳鉄製外ねじ式、800W×800H	—	2
		1系No.1~2洗浄用空気圧縮機	水冷式オイルフリー揺動式、1.7m ³ /分×200kPa	7.5	2
		1系No.3洗浄用空気圧縮機	水冷式オイルフリー揺動式、4.0m ³ /分×200kPa	15.0	1
		1系No.1~3空気槽(砂ろ過)	立形円筒槽、200L	—	3
		1系No.1空洗電動ボール弁箱	SUS製、4個収納	—	1
		1系No.2~4空洗電動ボール弁箱	SUS製、2個収納	—	3
		1系No.1,2洗浄排水ポンプ	無閉塞汚泥ポンプ、100Φ×1.6m ³ /分×8m	11.0	2
		1系No.1,2洗浄排水ポンプ吐出弁	電動仕切弁、100Φ	0.2	2
		1系No.3洗浄排水ポンプ	無閉塞汚泥ポンプ、150Φ×3.2m ³ /分×8m	15.0	1
		1系No.3洗浄排水ポンプ吐出弁	電動仕切弁、150Φ	0.2	1

砂ろ過施設	砂ろ過設備	1系No.1,2消泡水ポンプ	片吸込渦巻ポンプ、80Φ×0.8m ³ /分×35m	11.0	2		
		1系No.3消泡水ポンプ	片吸込渦巻ポンプ、100Φ×1.5m ³ /分×35m	15.0	1		
		1系消泡水ポンプ吐出弁	電動バタフライ弁、300Φ	0.4	1		
		水処理砂ろ過散水給水ユニット	圧力式自動給水ユニット、65Φ×0.44m ³ /分×35m	5.5	1		
		No.1水処理軸封水用給水ユニット	圧力式自動給水ユニット、65Φ×0.48m ³ /分×39m	7.5	1		
		東側植樹用給水ユニット	圧力式自動給水ユニット、40Φ×0.20m ³ /分×46m	3.7	1		
		No.1,2SP棟送水ポンプ	片吸込渦巻ポンプ、80Φ×0.8m ³ /分×5m	3.7	2		
		No.1,2プロワ棟送水ポンプ	片吸込渦巻ポンプ、65Φ×0.4m ³ /分×6m	2.2	2		
		No.1,2管理本館送水ポンプ	片吸込渦巻ポンプ、50Φ×0.35m ³ /分×19m	2.2	2		
		No.1,2汚泥処理棟送水ポンプ	片吸込渦巻ポンプ、125Φ×2.3m ³ /分×11m	7.5	2		
		No.1,2親水用水設備送水ポンプ	片吸込渦巻ポンプ、40Φ×0.15m ³ /分×33m	2.2	2		
		生物脱臭送水ポンプ	片吸込渦巻ポンプ、65Φ×0.45m ³ /分×7m	2.2	1		
		1系No.1~4床排水ポンプ(砂ろ過)	自給式渦巻ポンプ、65Φ×0.3m ³ /分×14m	2.2	4		
		1系No.1,2床排水ポンプ(砂ろ過管廊)	着脱式水中汚水ポンプ、65Φ×0.3m ³ /分×14m	2.2	2		
		床排水ポンプ吊上装置(砂ろ過管廊)	手動式、0.5ton×2.5m	—	1		
		機器搬入用吊上装置	電動式チェーンブロック駆、1ton×11m	1.7	1		
		消毒施設	消毒設備	1系No.1次亜塩貯槽	立形定置式、5.1m ³	—	1
				1系No.1,2放流水次亜塩注入ポンプ	15Φ×0.02~0.308L/分×0.5MPa	0.2	2
				1系No.3放流水次亜塩注入ポンプ	15Φ×0.04~0.53L/分×0.5MPa	0.2	1
1系No.4放流水次亜塩注入ポンプ	25Φ×0.54~1.01L/分×0.49MPa			0.2	1		
1系No.1,2機械用水次亜塩注入ポンプ	0.27L/分×0.34MPa			24W	2		
No.1,2塩素混和池流入ゲート	手動式、1000W×1000H			—	2		
No.1塩素混和池バイパスゲート	手動式、1400W×1400H			—	1		
濃縮汚泥施設	濃縮汚泥設備	初沈汚泥用スクリーン	回転スクリーン式、2.4m ³ /分×4mm幅	0.75×2	1		
		初沈スクラムスクリーン	回転スクリーン式、2.4m ³ /分×3mm幅	0.75×2	1		
		終沈スクラムスクリーン	回転スクリーン式、2.4m ³ /分×3mm幅	0.4×2	1		
		し渣搬出コンベヤ	無軸スクリュウコンベヤ、1.1ton/時以上×搬送距離9850mm	0.75	1		
		し渣脱水機	スクリュウ式、1.1m ³ /時	5.5+0.4	1		
		し渣ホッパ	電動式鋼板製、4m ³	0.75×2	1		
		No.1濃縮汚泥掻寄機	中央駆動懸垂型、7.5mΦ×4m	0.75	1		
		No.1濃縮汚泥引抜弁	電動偏心構造弁、150Φ	0.4	1		
		No.1,2濃縮汚泥引抜ポンプ	一軸ネジ式、125Φ×0.9m ³ /分×0.12MPa	7.5	2		
		No.1,2床排水ポンプ(汚泥スクリーン)	着脱式水中汚水ポンプ、65Φ×0.3m ³ /分×16m	3.7	2		
		床排水ポンプ吊上装置(汚泥スクリーン)	手動式チェーンブロック、0.5ton×4.4m	—	1		
		初沈スクラム切替弁(重力槽)	手動仕切弁、200Φ	—	1		
		初沈スクラム切替弁(貯留槽)	手動仕切弁、200Φ	—	1		
		終沈スクラム切替弁(重力槽)	手動仕切弁、200Φ	—	1		
		終沈スクラム切替弁(貯留槽)	手動仕切弁、200Φ	—	1		
		送泥切替弁(重力槽)	手動仕切弁、200Φ	—	1		
		送泥切替弁(貯留槽)	手動仕切弁、200Φ	—	1		
		送泥切替弁(連絡弁)	手動仕切弁、200Φ	—	1		
		維持管理用吊上装置	電動式チェーンブロック、1ton×13.3m	1.7	1		
	脱臭設備	脱臭設備	汚泥スクリーン棟生物脱臭装置	充填塔式生物脱臭装置、46m ³ /分	約10.0	1	
			汚泥スクリーン棟脱臭ファン	片吸込ターボファン、46m ³ /分×3.63kPa	7.5	1	
			汚泥スクリーン棟吸着脱臭装置	添着活性炭吸着塔、46m ³ /分	—	1	
			し渣搬出室用脱臭ファン	片吸込ターボファン、59m ³ /分×2.05kPa	3.7	1	
			し渣搬出室用脱臭装置	添着活性炭吸着塔、59m ³ /分	—	1	
			し渣搬出室用脱臭ダンパ	電動ダンパ、□400	0.04	1	
			活性炭搬出入クレーン(重力濃縮)	手動式チェーンブロック、1ton×6.1m	—	1	
			汚泥処理棟	汚泥脱水設備	No.1~4余剰汚泥切替弁	空気作動偏心構造弁(複作動形)、200Φ	—
No.1~4重力濃縮汚泥切替弁	空気作動偏心構造弁(複作動形)、150Φ	—			4		
No.1~2濃縮汚泥貯留槽攪拌機	立型パドル式、羽根径約2000mmΦ	7.5			2		
No.3~4濃縮汚泥貯留槽攪拌機	立型パドル式、羽根径約2250mmΦ	7.5			2		
No.1~4汚泥供給ポンプ	一軸ネジ式、150Φ×0.23~0.7m ³ /分×11m	11.0			4		
No.1,2薬品定量フィーダ	容積式、890~2670CC/分、ホッパ容量400L	0.4			2		

汚泥処理棟	汚泥脱水設備	No.1,2薬品溶解タンク	鋼板製円筒形、8m ³	3.7	2		
		No.1～4薬品供給ポンプ	一軸ネジ式、50Φ×14.6～43.9L/分×17m	2.2	4		
		No.1,2無機凝集剤貯槽	FRP製円筒タンク、9m ³	—	2		
		No.1～4無機凝集剤注入ポンプ	ダイヤフラム式、25Φ×0.31(0.39)～0.93(1.16)L/分×0.4MPa	0.2	3+1		
		No.1～3汚泥脱水機	ベルトプレス、ろ布幅1.5m×180kg-DS/m・時	4.45	3		
		No.1～3造粒調質装置	造粒調質ユニット、0.27tds/時	11.2	3		
		No.1ケーキ搬送コンベヤ	トラフ形ベルトコンベヤ、W600mm×L16800mm、20m/min	1.5	1		
		No.2ケーキ搬送コンベヤ	無軸スクリュウコンベヤ、Φ280mm×L18000mm、5m ³ /n	3.7	1		
		No.3ケーキ搬送コンベヤ	無軸スクリュウコンベヤ、Φ280mm×L5400mm、5m ³ /n	1.5	1		
		No.4ケーキ搬送コンベヤ	無軸スクリュウコンベヤ、Φ280mm×L5600mm、5m ³ /n	1.5	1		
		No.1,2ケーキ貯留ホッパ	電動式鋼板製、10m ³	1.5×2	2		
		No.1,2空気圧縮機(汚泥処理)	パッケージ式、1200L/分×0.83MPa	11.0	2		
		空気槽(汚泥処理)	立形円筒槽、1.15m ³	—	1		
		除湿器(汚泥処理)	冷凍式、1.34m ³ /分	0.25	1		
		No.1,2砂ろ過水切替弁(汚泥処理)	空気作動ボール弁(複作動形)、200Φ	—	2		
		No.1～4ろ布洗浄水ポンプ	多段渦巻ポンプ、50Φ×0.3m ³ /分×65m	7.5	4		
		汚泥処理棟給水ユニット	50Φ×0.6m ³ /分×63m	7.5×2	1		
		No.1～2分離液移送ポンプ	吸込スクリュウ付汚泥ポンプ、100Φ×1.0m ³ /分×9m	5.5	2		
		No.3～4分離液移送ポンプ	吸込スクリュウ付汚泥ポンプ、150Φ×2.0m ³ /分×9m	11.0	2		
		No.1～2分離液貯留槽攪拌機	立型パドル式、羽根径約2000mmΦ	7.5	2		
		No.3分離液貯留槽攪拌機	立型パドル式、羽根径約2250mmΦ	7.5	1		
		No.1-1～2-2床排水ポンプ(汚泥処理)	着脱式水中汚水ポンプ、65Φ×0.3m ³ /分×16m	3.7	4		
		天井クレーン	サスペンション形手動チェーンブロック、2.5ton×スパン10.8m×揚程8.0m	—	1		
		薬品コンテナ吊上装置	電動式チェーンブロック、2ton×12m	1.7+0.4	1		
		No.1,2床排水ポンプ吊上装置(汚泥処理)	手動式チェーンブロック、0.5ton×3.5m	—	2		
		余剰汚泥切替弁用電磁弁箱	SUS製、4個(全4個収納)	—	1		
		濃縮汚泥切替弁用電磁弁箱	SUS製、4個(全4個収納)	—	1		
		砂ろ過水切替弁用電磁弁箱	SUS製、2個(全2個収納)	—	1		
		薬品引抜弁用電磁弁箱	SUS製、2個(全2個収納)	—	1		
		無機凝集剤引抜弁用電磁弁箱	SUS製、2個(全2個収納)	—	1		
		消臭剤噴霧装置	定量電磁ポンプ(タンク付)、400mL/分×0.2MPa	22W+8W×2	1		
		No.1維持管理用吊上装置	手動式キヤートトリ、1.0ton×7.7m	—	1		
		No.2維持管理用吊上装置	電動式チェーンブロック、1.0ton×11.5m	1.7	1		
		脱臭設備	汚泥処理棟生物脱臭装置	充填塔式生物脱臭装置、56m ³ /分	約10.0	1	
			汚泥処理棟脱臭ファン	片吸込ターボファン、56m ³ /分×3.53kPa	7.5	1	
			汚泥処理棟吸着脱臭装置	添着活性炭吸着塔、56m ³ /分	—	1	
			ケーキ搬出室用脱臭ファン	片吸込ターボファン、63m ³ /分×1.96kPa	5.5	1	
			ケーキ搬出室用脱臭装置	添着活性炭吸着塔、63m ³ /分	—	1	
			ケーキ搬出室用脱臭切替ダンパ	電動式ダンパ、□450	0.04	1	
			活性炭搬出入クレーン(汚泥処理)	手動式チェーンブロック、1.0ton×5.9m	—	1	
		環境ゾーン	送水設備	カエル循環ポンプ	水中ポンプ、50Φ×0.0935m ³ /分×40.3m	3.7	1
				トンボ送水ポンプ	水中ポンプ、50Φ×0.0935m ³ /分×40.3m	3.7	1
				No.1,2トンボ送水ポンプ(海水)	水中ポンプ、50Φ×0.0438m ³ /分×15m	0.75	2
No.1,2トンボ排水ポンプ(海水)	水中ポンプ、50Φ×0.280m ³ /分×7m			1.5	2		
No.1,2トンボゾーン前池⇒トンボゾーン送水ポンプ	水中ポンプ、50Φ×0.170m ³ /分×4.8m			0.4	2		
メダカゾーン⇒トンボゾーン前池送水ポンプ	水中ポンプ、50Φ×0.220m ³ /分×7.5m			0.75	1		

(5) 宮川浄化センター処理フロー



(エ) 環境保全に係る取り組み

a 目標放流水質等

放流水質についての目標放流水質は、法令（下水道法、水質汚濁防止法）による基準よりさらに低い値が設定されている。特に全窒素及び全りん（りん）の抑制は、周辺海域の富栄養化防止に係る重要因子であることから、厳しい値を目標値としている。

法令等に基づく基準値及び目標放流水質

項目	基準値	目標放流水質
BOD (mg/L)	15 以下	14 以下
COD (mg/L)	—	18 以下
SS (mg/L)	40 以下	20 以下
全窒素 (mg/L)	10 以下	9.5 以下
全りん (mg/L)	1.0 以下	0.9 以下
pH (—)	5.8 以上 8.6 以下	5.8 以上 8.6 以下

備考：基準値は下水道法の水質基準。

b 放流水の適切な消毒

処理水の放流に伴う大腸菌などによる汚染を避ける必要性から次亜塩素酸ナトリウムで消毒を行っているが、残留塩素を極力低減化し、放流先水域の水生生物等に影響を及ぼさないようにしている。

次亜塩素酸ナトリウムの注入率は、有効塩素として0.1mg/Lとなるように注入した。

(オ) 処理水の利用

管理本館内の水洗トイレの洗浄水及び場内植栽への撒き水として利用を図るとともに、自然環境保全を目標としたカエルゾーンやトンボゾーンでも活用している。

イ 月別の水処理状況

4月

降水量は73.5mm、流入水量は14,967m³/日であり、3月と比べて21 m³/日増加した。
中旬からNo. 1 反応槽のMLSSが低下したため余剰汚泥引き抜き量を調整した。
全窒素及び全りん濃度の日間平均値が、目標放流水質を超えることはなかった。

5月

降水量は147.0mm、流入水量は15,175m³/日であり、4月と比べて208 m³/日増加した。
省エネ対策として、No. 3 反応槽攪拌機を連続運転から間欠運転に切り替えたが、処理水質に悪化は見られなかった。
全窒素及び全りん濃度の日間平均値が、目標放流水質を超えることはなかった。

6月

降水量は91.5mm、流入水量は14,894m³/日であり、5月と比べて276m³/日増加した。
省エネ対策として、No. 2 反応槽攪拌機を連続運転から間欠運転に切り替えた。
全窒素は5月よりも良好に処理できたが、全りんは全体的に高く推移し、5月より悪化した。
このため、りん処理が悪化していたNo. 3 反応槽に負荷がかかるように、最初沈澱池流入稼動堰の開度を調節した。
全窒素及び全りん濃度の日間平均値が、目標放流水質を超えることはなかった。

7月

降水量は102.0mm、流入水量は15,334m³/日であり、6月と比べて440 m³/日増加した。
省エネ対策として、No. 1 反応槽攪拌機を連続運転から間欠運転に切り替えた。これにより全反応槽が間欠運転となった。
全窒素及び全りんともに若干高かったがおおむね安定して処理することができた。
全窒素及び全りん濃度の日間平均値が、目標放流水質を超えることはなかった。

8月

降水量は325.0mm、流入水量は15,978m³/日であり、7月と比べて644m³/日増加した。
8月5日よりNo. 4 反応槽の使用を開始した。
8月9日及び10日に台風接近に伴い降雨が254.5mmあり、その影響で流入量が14,000 m³/日程度増加したためりん処理が不安定になった。
全窒素及び全りん濃度の日間平均値が、目標放流水質を超えることはなかった。

9月

降水量は147.0mm、流入水量は15,435m³/日であり、8月と比べて543m³/日減少した。
7月からりん処理が不安定な状況が続いていた。りん処理対策として、最初沈殿地の使用を3

池から2池に減らすことで反応槽の負荷を上げる、反応槽の循環率を150%から120%に下げるなどの処置を行った結果、9月下旬のリン処理は少し安定した。

循環率を下げた影響で全窒素の値はやや上昇した。

全窒素及び全りん濃度の日間平均値が、目標放流水質を超えることはなかった。

10月

降水量は477.5mm、流入水量は16,615m³/日であり、9月と比べて1,180m³/日増加した。

2度の台風接近に伴い、流入水量が増加した際は、最初沈澱池の空池貯留で対応した。

9月から継続して、最初沈殿地は2池のみ利用することでリン処理の安定化を図った。また、活性汚泥の均一化のために返送汚泥ポンプの変則運転を開始した。

10月下旬からSVIが上昇したが水処理に大きな影響はなかった。

リン処理は平均値が高い状況が続いたが、後半には安定していた。

全窒素及び全りん濃度の日間平均値が、目標放流水質を超えることはなかった。

11月

降水量は85.5mm、流入水量は15,580m³/日であり、10月と比べて1,035m³/日減少した。

10月下旬から活性汚泥のSVIが高い状態が続いていたが処理に大きな影響はなかった。

活性汚泥の均一化のための返送汚泥ポンプの変則運転を11月26日に終了した。それに伴い、全反応槽において間欠攪拌運転を再開した。

全窒素及び全りん濃度の日間平均値が、目標放流水質を超えることはなかった。

12月

降水量は49.0mm、流入水量は15,802m³/日であり、11月と比べて222m³/日増加した。

毎年、年末年始は流入する全窒素濃度が上昇し、それに伴い窒素処理が悪化するため、高MLSSを維持した。年末年始に限り、高い流入全窒素濃度を稀釈する目的で、消泡水にて生物反応槽への流入負荷を稀釈して対応した。

全窒素及び全りん濃度の日間平均値が、目標放流水質を超えることはなかった。

1月

降水量は34.0mm、流入水量は15,542m³/日であり、12月と比べて260m³/日減少した。

年始に窒素処理が不安定となったが、循環率を180%に上げ、反応槽の溶存酸素を1.5mg/Lに変更することで対処した。

SVIは継続して高い状態が続いた。

全窒素及び全りん濃度の日間平均値が、目標放流水質を超えることはなかった。

2月

降水量は3.0mm、流入水量は15,304m³/日であり、1月と比べて238m³/日減少した。

2月4日から終沈スカムスキマの改修のため、反応槽流入比率を操作する変則運転を行った。その結果、反応槽流入量が少ない反応槽では負荷不足が原因と思われるリン処理の悪化傾向が現れたが、全体としては問題なく処理できた。

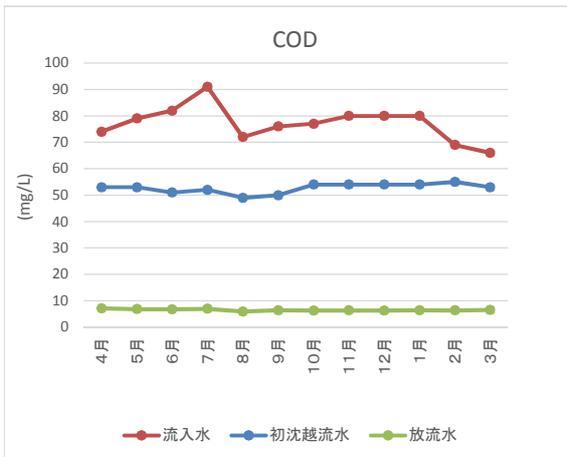
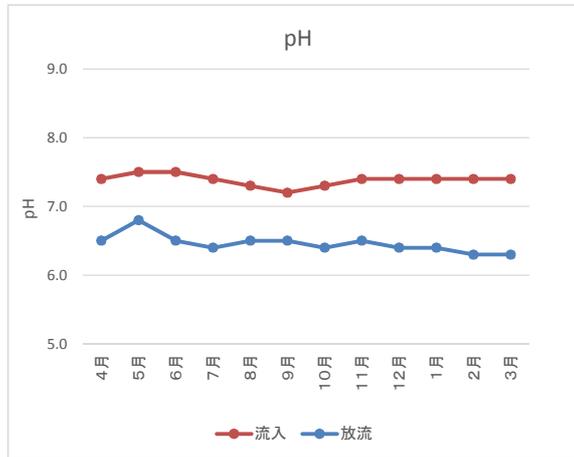
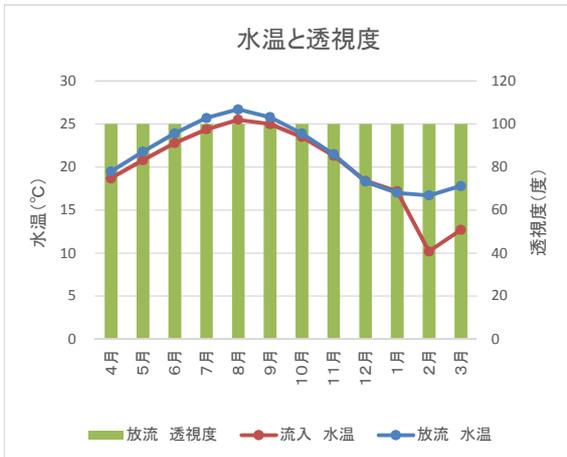
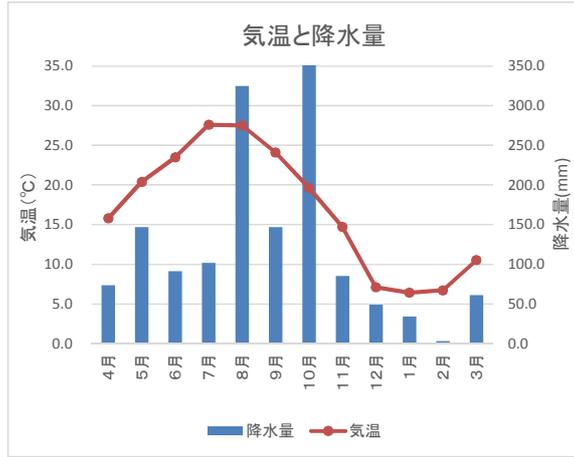
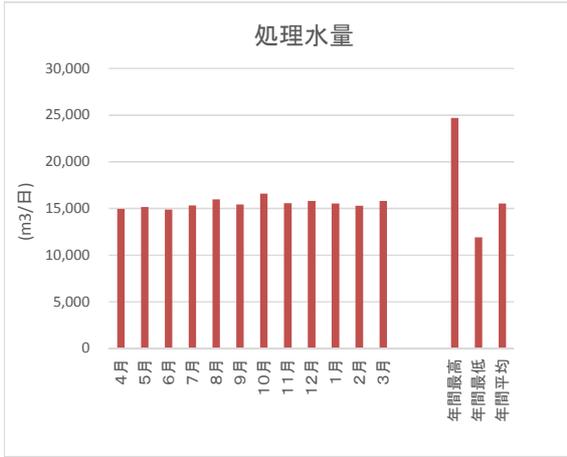
全窒素及び全りん濃度の日間平均値が、目標放流水質を超えることはなかった。

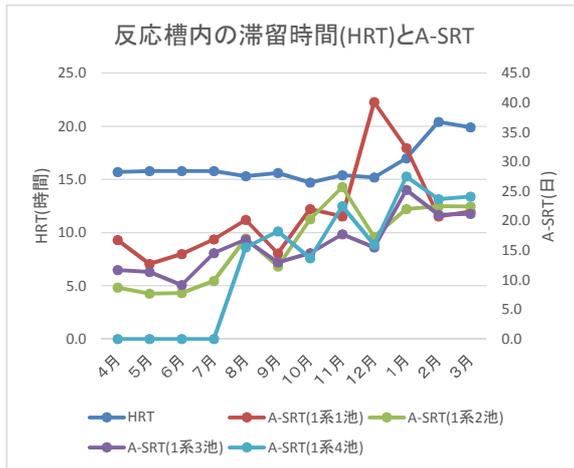
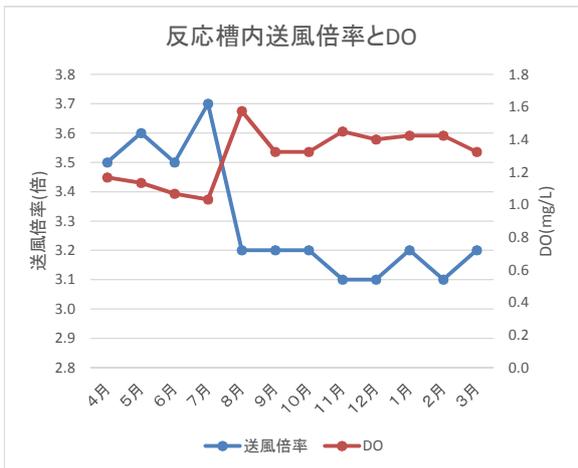
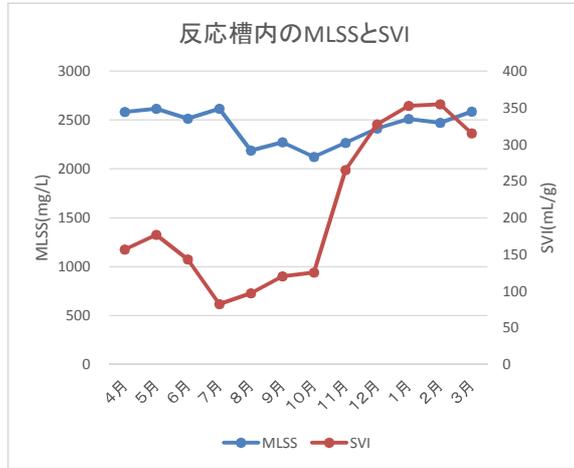
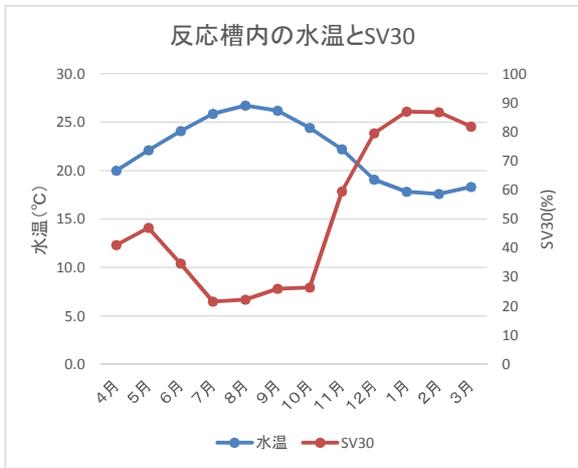
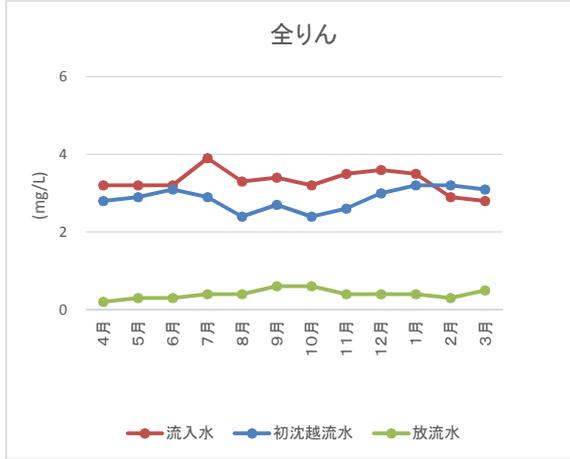
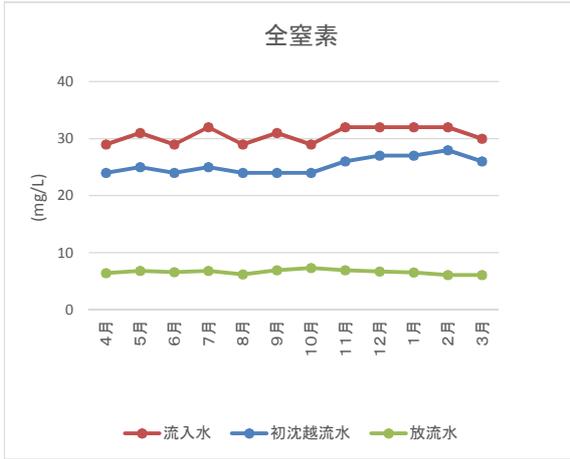
3月

降水量は61.0mm、流入水量は15,826m³/日であり、2月と比べて522 m³/日増加した。

2月から引き続き、3月12日まで終沈スカムスキマ改修のため反応槽流入比率を操作する変則運転を行った。2月と同様に、反応槽流入量が少ない反応槽では負荷不足が原因と思われるリン処理の悪化傾向が現れたが、全体としては問題なく処理できた。

全窒素及び全りん濃度の日間平均値が、目標放流水質を超えることはなかった。





備考

1. 各月のデータは、その月平均値。
2. 年間最高値は、年間の総データの最高値。
3. 年間最低値は、年間の総データの最低値。
4. 年間平均値は、月平均の平均値。
5. ただし、降水量の各月のデータは、日降水量の累積値。

(7) 污水处理水量

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	備考
項目															
污 水 处 理 水 量	流入水量 [m ³]	448,998	470,419	446,824	475,347	495,330	463,064	515,051	467,405	489,870	481,809	428,525	490,602	5,673,244	—
	日平均流入水量 [m ³ /日]	14,967	15,175	14,894	15,334	15,978	15,435	16,615	15,580	15,802	15,542	15,304	15,826	—	年平均 15,543
	日最大流入水量 [m ³ /日]	19,427	17,951	15,835	16,302	24,438	18,353	24,708	16,414	17,338	16,656	17,184	17,822	—	年最大 24,708
	晴天日流入水量 [m ³]	355,478	348,902	313,555	336,098	308,413	350,473	303,583	343,573	395,920	417,907	371,424	348,189	4,193,515	—
	晴天日日数 [日]	24	23	21	22	20	23	19	22	25	27	24	22	272	—
	晴天日平均 [m ³ /日]	14,812	15,170	14,931	15,277	15,421	15,238	15,978	15,617	15,837	15,478	15,476	15,827	—	年平均 15,417
	晴天日最大 [m ³ /日]	15,501	16,326	15,441	16,003	17,399	16,364	17,491	16,414	17,338	16,130	17,184	16,532	—	年最大 17,491
	晴天日(雨天影響を除く)流入水量 [m ³]	266,770	194,513	162,502	198,300	212,367	209,346	109,312	250,442	202,931	291,650	244,918	205,037	2,548,088	—
	晴天日(雨天影響を除く)日数 [日]	18	13	11	13	14	14	7	16	13	19	16	13	167	—
	晴天日(雨天影響を除く)平均 [m ³ /日]	14,821	14,963	14,773	15,254	15,169	14,953	15,616	15,653	15,610	15,350	15,307	15,772	—	年平均 15,258
	晴天日(雨天影響を除く)最大 [m ³ /日]	15,305	15,602	15,127	15,598	16,066	16,005	16,878	16,320	16,178	15,755	16,061	16,532	—	年最大 16,878
	雨天日流入水量 [m ³]	93,520	121,517	133,269	139,249	186,917	112,591	211,468	123,832	93,950	63,902	57,101	142,413	1,479,729	—
	雨天日日数 [日]	6	8	9	9	11	7	12	8	6	4	4	9	93	—
	雨天日平均 [m ³ /日]	15,587	15,190	14,808	15,472	16,992	16,084	17,622	15,479	15,658	15,976	14,275	15,824	—	年平均 15,911
	雨天日最大 [m ³ /日]	19,427	17,951	15,835	16,302	24,438	18,353	24,708	16,211	16,607	16,656	15,609	17,822	—	年最大 24,708
放 流 水 量	返流水量 [m ³]	112,090	105,787	110,237	101,343	102,175	102,849	108,328	103,426	107,943	120,052	108,939	119,619	1,302,788	年平均 3,569
	放流水量 [m ³]	453,514	474,236	444,322	471,898	485,605	456,686	508,122	457,734	479,238	477,100	427,480	485,688	5,621,623	—
	日平均放流水量 [m ³ /日]	15,117	15,298	14,811	15,223	15,665	15,223	16,391	15,258	15,459	15,390	15,267	15,667	—	年平均 15,402
	日最大放流水量 [m ³ /日]	19,751	18,504	16,095	16,383	24,091	18,397	24,653	16,310	16,821	16,419	16,571	17,913	—	年最大 24,653
再生利用水量 [m ³]	91,011	78,837	57,850	51,081	52,127	52,943	53,039	52,581	61,249	80,635	114,944	121,121	867,418	—	

(8) 電力・水道・薬品・燃料

項 目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	日平均
薬品・ 水処理	次亜塩素酸ナトリウム(放流水) [ℓ]	561	727	695	730	730	656	696	594	591	611	579	658	7,828	21
	次亜塩素酸ナトリウム(急速ろ過) [ℓ]	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	次亜塩素酸ナトリウム(再生水) [ℓ]	120	124	120	124	124	120	124	120	121	148	112	124	1,481	4
	ポリ塩化アルミニウム [ℓ]	4,044	5,632	8,077	8,099	10,114	10,038	16,102	2,122	3,513	3,781	3,577	5,849	80,948	222
薬品・ 汚泥処理	高分子凝集剤(浮上用) [kg]	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	高分子凝集剤(脱水管) [kg]	928.2	1,048.8	1,062.2	1,003.8	946.6	1,050.6	1,070.5	878.7	1,023.7	960.4	986.6	1,225.8	12,185.9	33.4
	ポリ硫酸第二鉄 [kg]	9,998.2	9,451.7	8,834.2	10,034.7	9,061.7	10,104.5	10,310.2	9,359.2	10,097.0	9,066.0	9,084.7	10,783.0	116,185.1	318.3
	消臭剤 [ℓ]	781.0	1,255.0	1,309.0	1,277.0	1,312.0	1,404.0	590.0	562.0	554.5	589.0	611.5	652.5	10,897.5	29.9
薬品・ 脱臭	起泡助剤 [kg]	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	硫酸 [ℓ]	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	苛性ソーダ [ℓ]	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	電 力 量 [kWh]	368,736	355,803	333,823	347,291	386,132	356,929	389,274	351,759	377,358	391,088	359,250	389,608	4,407,051	12,074
	水 道 [m ³]	191	185	177	191	177	173	192	171	167	165	135	153	2,077	6
	重 油 [ℓ]	130	130	510	120	130	140	140	140	210	140	140	470	2,400	—
	軽 油 [ℓ]	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	灯 油 [ℓ]	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(9) 汚泥脱水処理

項 目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	日平均
汚泥脱水処理	脱 水 処 理 量 [m ³]	7,394.0	8,628.0	8,915.0	8,658.0	8,509.0	9,729.0	9,660.0	7,974.0	9,131.0	7,389.0	7,008.0	8,299.0	101,294.0	277.5
	濃 縮 汚 泥 濃 度 日 平 均 [%]	1.55	1.35	1.16	1.13	0.99	0.91	0.96	1.14	1.15	1.53	1.60	1.58	—	年平均 1.25
	脱 水 機 運 転 時 間 [h:m]	565:39	611:34	603:58	588:47	499:24	553:42	586:05	499:23	574:16	555:46	532:35	653:21	6824:30	18:41
	ケ ー キ 発 生 量 [t]	404.70	410.00	406.70	363.00	324.80	370.60	370.60	344.50	421.20	425.70	402.00	444.70	4,688.50	12:85
	ケ ー キ 含 水 率 日 平 均 [%]	74.4	74.3	74.9	73.9	73.6	74.7	74.7	74.6	75.2	74.8	74.6	74.8	—	年平均 74.5
し さ 発 生 量 [t]	2.16	2.55	3.53	1.55	1.81	1.84	2.64	2.51	3.22	3.54	3.95	3.82	33.12	0:09	
汚泥処分	汚 泥 処 分 合 計 量 [t]	414.20	415.66	417.14	375.51	327.92	375.65	385.10	347.46	437.53	437.90	406.24	456.12	4,796.43	13:14
	セ メ ン ト 原 料 化 [t]	414.20	415.66	417.14	375.51	327.92	375.65	385.10	347.46	437.53	437.90	406.24	456.12	4,796.43	13:14
	焼 却 [t]	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	—
し さ 焼 却 処 分 量 [t]	0.00	0.00	0.99	0.00	2.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.56	0.00	5.05	—	

(10)施設点検業務の概要

施設点検整備概要		
番号	工事名称	整備内容
1	防災設備点検業務	消防設備点検、建築基準法、同施行令の規定に基づく建築設備の定期点検
2	No.1,2ブロワ分解整備工事	No.1,2ブロワを分解の上、清掃・消耗部品を交換
3	No.3洗浄用空気圧縮機緊急修繕工事	No.3洗浄用空気圧縮機を分解の上、清掃・消耗部品を交換
4	計装・監視制御設備点検業務	設備点検保守要綱に基づく計装設備及び監視制御装置の点検
5	多目的広場遊具保守点検業務委託	多目的広場遊具像遊具・複合遊具定期点検業務委託
6	電気設備点検業務	三重県流域下水道事業保安規定第11条の規程による電気設備点検業務
7	No.1洗浄用空気圧縮機緊急修繕工事	No.1洗浄用空気圧縮機を分解の上、清掃・消耗部品を交換
8	No.2汚泥脱水設備他分解整備工事	No.2汚泥脱水設備他関連機器を分解の上、清掃・消耗品を交換

設備故障状況及び処置概要		
年月	名称及びその状況	処置方法
26 4	多目的広場 女子便所 便座除菌クリーナーのばね破損	部品交換
5	No.2反応槽 散気装置 ブローダウン弁制御盤 シーケンサ異常	リセット操作のみで通常モードとなったため、経過観察とする
6	SP棟ポンプ室軸封水ユニット 電流計の指示不良	部品交換
7	SP棟スクリーンかず洗浄機 排水弁止水不良	部品交換
8	次亜塩タンク液位計配管ドレン用バルブ液漏れ	弁の交換
9	塩素混和池 放流水サンプリングポンプ 漏電	清掃・乾燥作業
10	No.3洗浄用空気圧縮機圧力が上がらない件	緊急修繕(分解整備)
10	No.1洗浄用空気圧縮機より冷却水漏れ	緊急修繕(分解整備)
10	No.1汚泥脱水機の脱水ろ布駆動インバータ異常	部品交換
10	No.1返送汚泥流量計の異常	部品交換
10	トンボ送水ポンプ、カエル循環ポンプ ストレーナ腐食	部品交換
11	No.3-2終沈汚泥掻寄機オイル漏れ	経過観察
11	消泡水配管腐食による水漏れ	パテによる補修作業
12	12月分不具合対応完了物件なし	不具合対応物件なし
27 1	初沈排水ポンプ吐出圧力計不良	部品交換
1	No.1洗浄用空気圧縮機 断水警報発生	部品交換
1	No.1-2終沈スカム移送ポンプ逆止弁破損	部品交換
2	No.2親水用水設備送水ポンプ異音	部品交換
3	No.1-2終沈スカムスキーマ(前段)動作不良	部品交換
3	No.1-1終沈汚泥掻寄機上部リターンレール破損	部品取替
3	No.1-1終沈汚泥掻寄機フライトに損傷痕	引き続き経過観察とする。

(11)水質試験業務

ア. 流入、放流水質試験

項目 月	気温	水温		透視度		pH		SS		BOD		COD		溶解性TOC	
	℃	℃		度		-		mg/L		mg/L		mg/L		mg/L	
単位		流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流
4月	15.8	18.7	19.5	6	100	7.4	6.5	73	0	100	1.3	74	7.2	38	4.1
5月	20.4	20.8	21.8	5	100	7.5	6.8	96	0	98	1.2	79	6.9	34	5.4
6月	23.5	22.8	23.9	6	100	7.5	6.5	100	0	93	0.6	82	6.8	29	3.6
7月	27.6	24.4	25.7	6	100	7.4	6.4	140	0	110	1.2	91	7.0	32	3.6
8月	27.5	25.5	26.7	6	100	7.3	6.5	90	0	110	1.7	72	6.0	30	4.6
9月	24.1	25.0	25.8	5	100	7.2	6.5	92	0	140	1.2	76	6.5	30	3.4
10月	19.6	23.5	23.9	5	100	7.3	6.4	97	0	99	1.0	77	6.3	26	3.2
11月	14.7	21.3	21.5	5	100	7.4	6.5	97	0	110	1.1	80	6.4	39	3.6
12月	7.1	18.4	18.3	6	100	7.4	6.4	90	0	100	0.6	80	6.3	36	3.4
1月	6.4	17.2	17.0	5	100	7.4	6.4	84	0	100	0.9	80	6.5	40	3.2
2月	6.7	10.2	16.7	6	100	7.4	6.3	48	0	89	0.8	69	6.4	38	4.4
3月	10.5	12.7	17.8	7	100	7.4	6.3	50	0	90	1.1	66	6.6	36	3.7
最高	32.9	25.9	27.6	10	>100	7.8	7.3	430	3	180	3.4	220	8.0	41	7.5
最低	2.2	7.9	13.3	3	100	6.4	6.0	22	<1	76	<0.5	47	4.6	25	2.8
平均	17.1	20.1	21.6	6	100	7.4	6.4	88	0	100	1.1	77	6.6	34	3.8
測定回数	356	365	364	365	364	361	360	244	244	50	50	244	244	23	24
放流基準値			—		—		5.8~8.6		40		15		—		—

項目 月	大腸菌群数		遊離 残留塩素	全蒸発残留物		強熱減量		塩化物イオン		よう素消費量		全窒素	
	個/cm ³		mg/L	mg/L		mg/L		mg/L		mg/L		mg/L	
単位	流入	放流	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流
4月	75,000	75	0.02	360	220	190	51	54	57	18	—	29	6.4
5月	91,000	120	0.02	340	210	180	49	48	52	17	—	31	6.8
6月	140,000	84	0.02	350	240	160	61	53	55	18	—	29	6.6
7月	110,000	94	0.02	460	270	270	100	54	56	19	—	32	6.8
8月	110,000	42	0.02	450	260	250	91	52	53	21	—	29	6.2
9月	66,000	71	0.03	460	270	270	96	60	58	20	—	31	6.9
10月	84,000	33	0.03	350	230	190	72	51	52	17	—	29	7.3
11月	89,000	57	0.02	370	220	210	65	54	53	17	—	32	6.9
12月	73,000	37	0.02	320	210	160	52	56	57	15	—	32	6.7
1月	44,000	26	0.02	350	220	180	57	48	49	15	—	32	6.5
2月	100,000	36	0.01	300	210	140	45	47	49	16	—	32	6.1
3月	84,000	49	0.01	300	210	150	67	51	54	13	—	30	6.1
最高	230,000	200	0.04	710	340	460	170	72	70	26	—	40	7.8
最低	14,000	2	<0.01	250	200	89	27	38	43	8	—	20	5.2
平均	90,000	60	0.02	370	230	200	68	52	54	17	—	30	6.6
測定回数	51	100	244	51	51	51	51	52	52	51	—	101	110
放流基準値		3,000	—		—		—		—		—		10

項目 月	NH ₄ ⁺ -N		NO ₂ ⁻ -N		NO ₃ ⁻ -N		全りん		PO ₄ ³⁻ -P		陰イオン 界面活性剤	
	mgN/L		mgN/L		mgN/L		mg/L		mgP/L		mg/L	
単位	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流
4月	22	0	0	0	0	5.8	3.2	0.2	1.6	0	4.7	<0.1
5月	23	0	0	0	0	5.8	3.2	0.3	1.5	0.2	5.0	<0.1
6月	22	0	0	0	0	5.9	3.2	0.3	1.5	0.2	1.6	<0.1
7月	22	0.1	0	0	0	6.0	3.9	0.4	1.5	0.3	3.8	<0.1
8月	21	0	0	0	0	5.3	3.3	0.4	1.4	0.3	3.6	<0.1
9月	22	0	0	0	0	5.9	3.4	0.6	1.5	0.5	3.8	<0.1
10月	21	0	0	0	0.2	6.4	3.2	0.6	1.3	0.5	5.1	<0.1
11月	22	0	0	0	0	5.8	3.5	0.4	1.4	0.2	4.1	<0.1
12月	22	0	0	0	0	5.6	3.6	0.4	1.7	0.3	3.8	<0.1
1月	22	0	0	0	0	5.3	3.5	0.4	1.8	0.2	4.6	<0.1
2月	25	0	0	0	0	5.1	2.9	0.3	1.5	0.2	4.2	<0.1
3月	24	0	0	0	0.1	5.2	2.8	0.5	1.3	0.3	3.3	<0.1
最高	27	0.7	<0.1	<0.1	1.3	7.2	6.2	0.9	2.0	0.7	5.1	<0.1
最低	15	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	4.2	2.1	<0.1	0.8	<0.1	1.6	<0.1
平均	22	0	0	0	0	5.7	3.3	0.4	1.5	0.3	4.0	0
測定回数	103	101	103	101	103	101	101	114	103	101	12	12
放流基準値		—		—		—		1		—		—

項目 月	n-ヘキサン 抽出物質		フェノール類		銅		亜鉛		溶解性鉄		溶解性マンガン		全クロム		カドミウム	
	mg/L		mg/L		mg/L		mg/L		mg/L		mg/L		mg/L		mg/L	
単位	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流
4月	26	0	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01
5月	29	0	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01
6月	22	0	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01
7月	26	0	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01
8月	30	0	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01
9月	32	0	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01
10月	26	0	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01
11月	26	0	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01
12月	26	0	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01
1月	22	0	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01
2月	30	0	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01
3月	26	0	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01
最高	34	<0.5	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01
最低	18	<0.5	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01
平均	26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
測定回数	24	24	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
放流基準値		鉍物油 5 動植物油 30		1	1	1	2	10	10	10	10	2	0.1			

項目 月	1,1,2-トリクロロエタン		1,3-ジクロロプロペン		チウラム		シマジン		チオベンカルブ		ベンゼン		セレン		ふっ素	
	mg/L		mg/L		mg/L		mg/L		mg/L		mg/L		mg/L		mg/L	
単位	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流
4月	<0.006	<0.006	<0.002	<0.002	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5
5月	<0.006	<0.006	<0.002	<0.002	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5
6月	<0.006	<0.006	<0.002	<0.002	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5
7月	<0.006	<0.006	<0.002	<0.002	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5
8月	<0.006	<0.006	<0.002	<0.002	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5
9月	<0.006	<0.006	<0.002	<0.002	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5
10月	<0.006	<0.006	<0.002	<0.002	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5
11月	<0.006	<0.006	<0.002	<0.002	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5
12月	<0.006	<0.006	<0.002	<0.002	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5
1月	<0.006	<0.006	<0.002	<0.002	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5
2月	<0.006	<0.006	<0.002	<0.002	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5
3月	<0.006	<0.006	<0.002	<0.002	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5
最高	<0.006	<0.006	<0.002	<0.002	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5
最低	<0.006	<0.006	<0.002	<0.002	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5
平均	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
測定回数	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
放流基準値		0.06		0.02		0.06		0.03		0.2		0.1		0.1		8

項目 月	ほう素		アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物および硝酸化合物の合計		1,4-ジオキサン	
	mg/L		mg/L		mg/L	
単位	流入	放流	流入	放流	流入	放流
4月	<1	<1	9.6	6.9	<0.05	<0.05
5月	<1	<1	9.6	7.1	<0.05	<0.05
6月	<1	<1	9.4	5.7	<0.05	<0.05
7月	<1	<1	9.0	6.5	<0.05	<0.05
8月	<1	<1	8.8	6.3	<0.05	<0.05
9月	<1	<1	9.2	7.6	<0.05	<0.05
10月	<1	<1	8.8	8.4	<0.05	<0.05
11月	<1	<1	9.6	6.2	<0.05	<0.05
12月	<1	<1	9.2	6.5	<0.05	<0.05
1月	<1	<1	10	5.9	<0.05	<0.05
2月	<1	<1	10	6.0	<0.05	<0.05
3月	<1	<1	9.2	6.0	<0.05	<0.05
最高	<1	<1	10	8.4	<0.05	<0.05
最低	<1	<1	8.8	5.7	<0.05	<0.05
平均	0	0	9.4	6.6	0	0
測定回数	12	12	12	12	12	12
放流基準値		10		100		0.5

備考

1. 数値は各月の平均値である。ただし、月1回の分析項目については、分析値を記載している。
2. 各月の透視度の平均は、測定結果が100度を超えた場合、“100度”として算出してある。
3. <0.0Xは報告下限値未満であることを示す。
4. 「最高」「最低」は年間の最高値最低値である。
5. 「平均」は月平均の平均値である。
6. 放流基準値の（ ）内の数値は日間平均値を示す。

イ. 生物反応槽試験

1系-1

項目	水温	pH	MLDO	SV30	MLSS	SVI	MLVSS	有機分	Rr	Kr
	°C	—	mg/L	%	mg/L	mL/g	mg/L	%	mg/L·h	mg/g·h
4月	20.0	6.1	1.1	39	2,380	170	2,000	83	8.4	3.6
5月	22.1	6.5	1.0	43	2,560	160	2,130	83	14	5.2
6月	24.1	6.5	0.9	30	2,320	130	1,940	84	12	5.2
7月	25.9	6.5	1.1	15	1,950	79	1,650	85	20	10
8月	26.8	6.5	1.3	20	2,030	96	1,720	83	9.6	4.6
9月	26.2	6.5	1.3	15	2,290	100	1,940	84	9.2	4.8
10月	24.4	6.5	1.3	19	2,140	91	1,820	84	13	6.0
11月	22.2	6.5	1.3	51	2,390	220	1,920	84	9.5	4.2
12月	19.0	6.4	1.3	71	2,300	300	2,020	85	6.7	3.3
1月	17.7	6.4	1.7	87	2,670	340	2,240	85	11	4.4
2月	17.5	6.2	1.2	87	2,720	330	2,270	85	8.2	3.2
3月	18.3	6.3	1.2	88	2,930	300	2,460	84	13	4.6
最高	28.0	7.5	4.9	94	3,240	360	2,740	86	26	13
最低	16.0	5.8	0.3	10	1,720	60	1,470	83	6.5	2.6
平均	22.0	6.4	1.2	47	2,390	190	2,010	84	11	4.9
測定回数	363	357	244	363	101	101	100	100	24	24

1系-2

項目	水温	pH	MLDO	SV30	MLSS	SVI	MLVSS	有機分	Rr	Kr
	°C	—	mg/L	%	mg/L	mL/g	mg/L	%	mg/L·h	mg/g·h
4月	20.0	6.1	1.0	42	2,660	150	2,220	84	11.0	4.0
5月	22.1	6.4	1.0	47	2,570	180	2,170	84	16	6.2
6月	24.1	6.4	0.9	36	2,540	150	2,140	84	18	6.7
7月	25.9	6.5	0.6	21	2,750	77	2,320	84	32	11
8月	26.8	6.5	1.2	19	2,170	82	1,860	85	12	5.3
9月	26.2	6.4	1.4	19	2,150	91	1,820	84	12	5.4
10月	24.4	6.4	1.3	24	2,080	110	1,740	84	14	6.4
11月	22.2	6.4	1.5	42	2,170	200	1,830	84	11	4.9
12月	19.1	6.3	1.4	72	2,420	300	2,050	85	8.6	3.4
1月	17.9	6.3	1.3	84	2,630	330	2,220	84	12	4.4
2月	17.6	6.2	1.5	83	2,460	350	2,060	84	8.7	4.8
3月	18.3	6.2	1.4	73	2,340	310	1,980	84	10	4.4
最高	27.7	7.4	2.4	90	3,050	380	2,600	86	47	15
最低	16.4	5.8	0.1	12	1,430	60	1,310	83	8.0	3.4
平均	22.0	6.3	1.2	47	2,410	190	2,030	84	14	5.6
測定回数	363	357	244	363	244	101	100	100	24	24

1系-3

項目	水温	pH	MLDO	SV30	MLSS	SVI	MLVSS	有機分	Rr	Kr
	°C	—	mg/L	%	mg/L	mL/g	mg/L	%	mg/L·h	mg/g·h
4月	20.0	6.1	1.4	42	2,710	150	2,270	84	10	3.8
5月	22.1	6.4	1.4	51	2,720	190	2,320	85	18	6.4
6月	24.0	6.4	1.4	38	2,680	150	2,250	84	16	6.0
7月	25.8	6.5	1.4	29	3,150	91	2,650	84	34	10.0
8月	26.7	6.4	1.6	24	2,240	100	1,890	84	10	4.6
9月	26.2	6.4	1.4	27	2,270	120	1,920	84	10	4.6
10月	24.4	6.4	1.3	31	2,150	150	1,790	83	12	5.8
11月	22.2	6.4	1.7	72	2,310	320	1,940	84	9.6	4.5
12月	19.1	6.3	1.6	85	2,550	340	2,210	85	7.8	3.0
1月	17.9	6.3	1.3	87	2,440	360	2,060	84	10	4.3
2月	17.6	6.2	1.6	89	2,440	360	2,060	84	7.7	3.1
3月	18.4	6.2	1.3	86	2,650	320	2,230	84	12	4.7
最高	27.3	7.4	3.5	96	3,340	380	2,810	86	42	13
最低	16.5	5.7	0.7	10	1,950	50	1,640	82	6.7	2.8
平均	22.0	6.3	1.4	55	2,530	220	2,130	84	13	5.1
測定回数	363	357	244	363	101	101	100	100	24	24

1系-4

項目	水温	pH	MLDO	SV30	MLSS	SVI	MLVSS	有機分	Rr	Kr
	°C	—	mg/L	%	mg/L	mL/g	mg/L	%	mg/L·h	mg/g·h
4月	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5月	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6月	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7月	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8月	26.6	6.5	2.2	26	2,310	110	1,950	84	11	4.9
9月	26.1	6.3	1.2	43	2,380	170	2,000	85	11	4.6
10月	24.4	6.3	1.4	32	2,120	150	1,760	83	14	6.6
11月	22.2	6.4	1.3	73	2,200	320	1,840	84	9.7	4.4
12月	19.1	6.4	1.3	90	2,380	370	2,000	84	8.8	3.2
1月	17.8	6.3	1.4	90	2,300	380	1,940	84	9.6	3.9
2月	17.6	6.2	1.4	88	2,270	380	1,920	84	7.4	3.2
3月	18.3	6.2	1.4	80	2,420	330	2,040	84	12.0	5.0
最高	27.3	7.3	7.7	96	1,780	410	2,330	85	16	7.1
最低	16.2	5.6	0.3	20	1,830	80	1,510	82	6.8	2.7
平均	21.5	6.3	1.4	65	2,300	280	1,930	84	10	4.5
測定回数	237	233	158	236	66	66	66	66	16	16

※1系-4は平成26年8月6日より供用開始。

- 1 数値は各月の平均値である。
- 2 「最高」「最低」は年間の最高値最低値である。
- 3 「平均」は月平均値の平均値である。

ウ. 脱水汚泥試験

(ア)含有量試験(脱水汚泥)

項目 月	全窒素	全りん	含水率	強熱減量	発熱量
単位	mg/g-乾	mg/g-乾	%	%	J/g
5月	52	17	71.8	88.6	—
8月	49	16	74.4	88.5	—
11月	45	24	72.2	89.7	—
2月	48	20	75.7	90.3	19,000
最高	52	24	75.7	90.3	19,000
最低	45	16	71.8	88.5	19,000
平均	48	19	73.5	89.3	19,000
測定回数	4	4	4	4	1

(イ)含有量試験(しき汚泥)

項目 月	全窒素	全りん	含水率	強熱減量	発熱量
単位	mg/g-乾	mg/g-乾	%	%	J/g
1月	29	1.4	69.0	96.4	19,000
測定回数	1	1	1	1	1

(ウ)溶出試験(脱水汚泥)

項目 月	アルキル 水銀	総水銀	カドミウム	鉛	有機りん	六価 クロム	ひ素	全シアン	ポリ塩化 ビフェニル	トリクロ エチレン	テトラクロ エチレン
単位	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L
5月	検出せず	<0.0005	<0.01	<0.01	<0.1	<0.05	0.03	<0.1	<0.0005	<0.03	<0.01
8月	検出せず	<0.0005	<0.01	<0.01	<0.1	<0.05	0.03	<0.1	<0.0005	<0.03	<0.01
11月	検出せず	<0.0005	<0.01	<0.01	<0.1	<0.05	0.02	<0.1	<0.0005	<0.03	<0.01
2月	検出せず	<0.0005	<0.01	<0.01	<0.1	<0.05	0.03	<0.1	<0.0005	<0.03	<0.01
最 高	検出せず	<0.0005	<0.01	<0.01	<0.1	<0.05	0.03	<0.1	<0.0005	<0.03	<0.01
最 低	検出せず	<0.0005	<0.01	<0.01	<0.1	<0.05	0.02	<0.1	<0.0005	<0.03	<0.01
平 均	0	0	0	0	0	0	0.03	0	0	0	0
測定回数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4

項目 月	ジクロロメタン	四塩化 炭素	1,2- ジクロロエタン	1,1- ジクロロエチレン	シス-1,2- ジクロロエチレン	1,1,1- トリクロロエタン	1,1,2- トリクロロエタン	1,3-ジクロロ プロペン	チウラム	シマジン	チオベンカルブ
単位	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L
5月	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.006	<0.003	<0.02
8月	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.006	<0.003	<0.02
11月	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.006	<0.003	<0.02
2月	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.006	<0.003	<0.02
最 高	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.006	<0.003	<0.02
最 低	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.006	<0.003	<0.02
平 均	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
測定回数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4

項目 月	ベンゼン	セレン	1,4- ジオキサン
単位	mg/L	mg/L	mg/L
5月	<0.01	<0.01	<0.05
8月	<0.01	<0.01	<0.05
11月	<0.01	<0.01	<0.05
2月	<0.01	<0.01	<0.05
最 高	<0.01	<0.01	<0.05
最 低	<0.01	<0.01	<0.05
平 均	0	0	0
測定回数	4	4	4

備考

1. <0.0Xは報告下限値未満であることを示す。

(エ)溶出試験(しき汚泥)

項目 月	アルキル 水銀	総水銀	カドミウム	鉛	有機りん	六価 クロム	ひ素	全シアン	ポリ塩化 ビフェニル	トリクロ エチレン	テトラクロ エチレン
単位	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L
1月	検出せず	<0.0005	<0.01	<0.01	<0.1	<0.05	<0.01	<0.1	<0.0005	<0.03	<0.01
測定回数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

項目 月	ジクロロタン	四塩化 炭素	1,2- ジクロロエタン	1,1- ジクロロエチレン	シス-1,2- ジクロロエチレン	1,1,1- トリクロロエタン	1,1,2- トリクロロエタン	1,3-ジクロロ プロパン	チウラム	シマジン	チオベンカルブ
単位	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L
1月	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.006	<0.003	<0.02
測定回数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

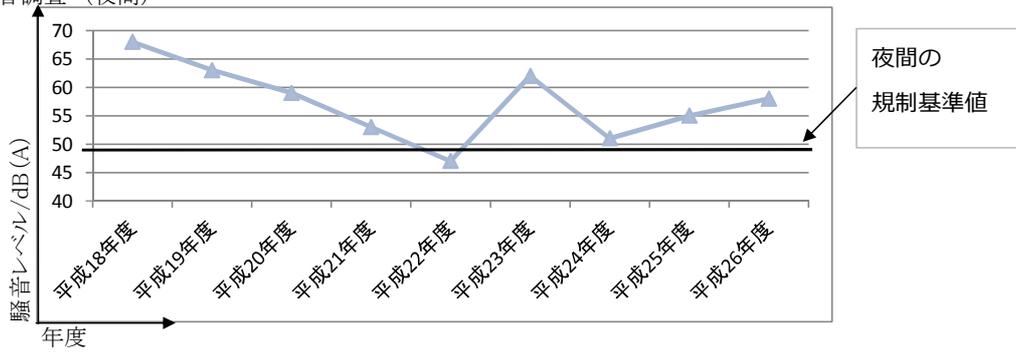
項目 月	ベンゼン	セレン	1,4- ジオキサン
単位	mg/L	mg/L	mg/L
1月	<0.01	<0.01	<0.05
測定回数	1	1	1

備考

1. <0.0Xは報告下限値未満であることを示す。

(12) 周辺環境調査(宮川浄化センター)

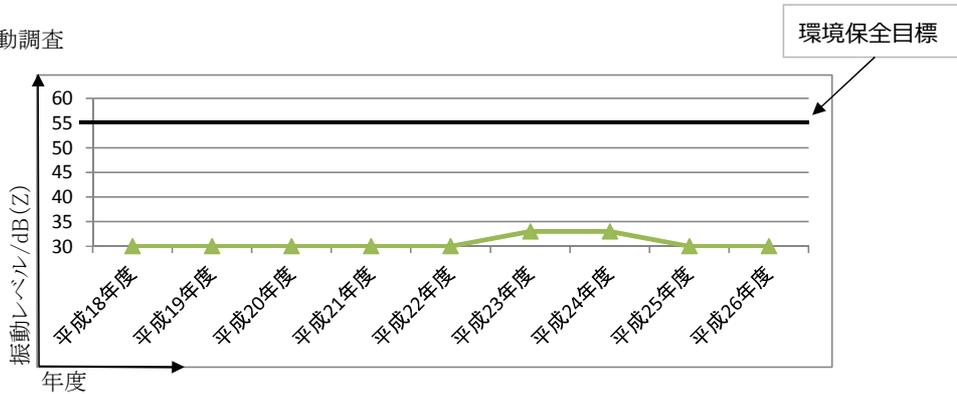
ア 騒音調査 (夜間)



(備考)

- 1.各年度における最高値(▲)を表示。
(8地点×2回/年)
- 2.三重県生活環境の保全に関する条例の「その他の地域」に該当するため夜間規制基準の50dBを基準線として表示した。
- 3.最高値は、春から夏の時期の虫等の鳴き声による影響が大きい。

イ 振動調査



(備考)

- 1.各年度における最高値(▲)を表示。
(8地点×2回/年)
- 2.周辺住居地域において55dB以下を環境保全目標としているため、55dBを基準線として表示した。
- 3.測定下限値未満の数値については、測定下限値の値をプロットした。

ウ 低周波音調査

1.1/3オクターブバンド音圧レベル

(春季)

単位：dB

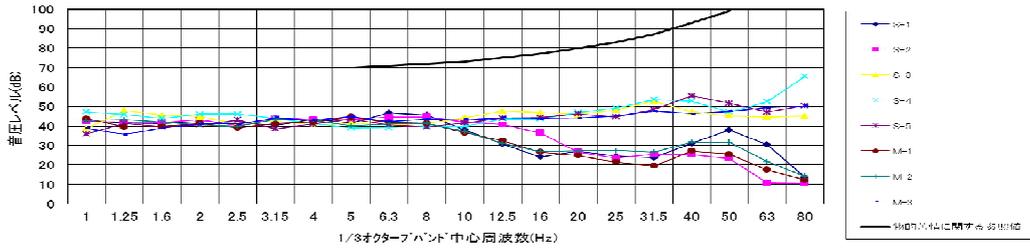
調査地点		中心周波数 (Hz)																	A. P.			
		1	1.25	1.6	2	2.5	3.15	4	5	6.3	8	10	12.5	16	20	25	31.5	40		50	63	80
敷地境界	S-1	43	42	41	42	42	40	44	42	47	46	38	31	24	27	24	24	31	38	30	14	54
	S-2	42	42	42	43	40	44	43	43	45	45	42	41	37	27	24	26	25	23	11	11	54
	S-3	39	48	46	45	41	43	41	41	41	41	44	48	47	46	48	53	47	45	45	45	59
	S-4	47	46	44	46	46	44	41	39	39	40	40	44	44	47	49	54	53	47	53	66	67
	S-5	36	41	39	41	43	39	41	44	41	40	42	44	44	46	45	48	55	52	47	50	60
直近民地	M-1	44	39	40	41	39	41	42	45	42	41	37	33	27	25	22	20	27	25	18	12	52
	M-2	43	43	42	41	40	44	43	40	41	41	37	31	27	27	28	27	32	32	22	14	52
	M-3	39	36	39	41	41	44	43	45	42	44	43	44	44	44	45	48	46	48	49	50	58
物的苦情に関する参照値									70	71	72	73	75	77	80	83	87	93	99			

※単位はdB

※A. P. は1～80Hzの全音圧レベルを示す。

※測定は5月27日9時50分～5月28日7時30分の間で騒音振動測定と同時に、風、自動車、飛行機等の影響が最も少ない時間帯のデータを採用した。

※低周波音レベル計の高さは、風による測定値への影響を避けるため地上0mにて測定した。



(秋季)

単位：dB

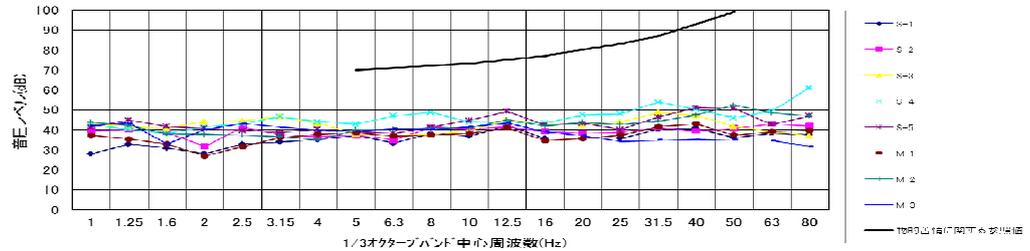
調査地点		中心周波数 (Hz)																	A. P.			
		1	1.25	1.6	2	2.5	3.15	4	5	6.3	8	10	12.5	16	20	25	31.5	40		50	63	80
敷地境界	S-1	28	33	31	28	33	34	35	37	33	38	37	42	36	36	36	40	41	36	38	37	50
	S-2	40	40	39	32	41	37	36	37	35	41	40	41	39	38	39	41	39	41	43	42	53
	S-3	43	41	41	44	44	46	43	38	37	38	39	45	43	43	44	49	47	42	39	37	56
	S-4	42	40	38	41	43	46	44	43	47	49	44	43	43	47	48	54	50	46	49	61	63
	S-5	41	45	42	41	40	39	40	39	38	41	45	49	42	43	40	46	51	50	43	47	58
直近民地	M-1	37	35	33	27	32	36	38	39	37	37	38	41	35	35	37	42	43	37	39	39	51
	M-2	44	42	38	38	37	37	35	40	40	41	41	45	42	44	43	44	47	52	48	47	58
	M-3	42	43	33	40	43	41	40	39	41	40	41	43	39	37	34	35	35	35	34	32	53
物的苦情に関する参照値									70	71	72	73	75	77	80	83	87	93	99			

※単位はdB

※A. P. は1～80Hzの全音圧レベルを示す。

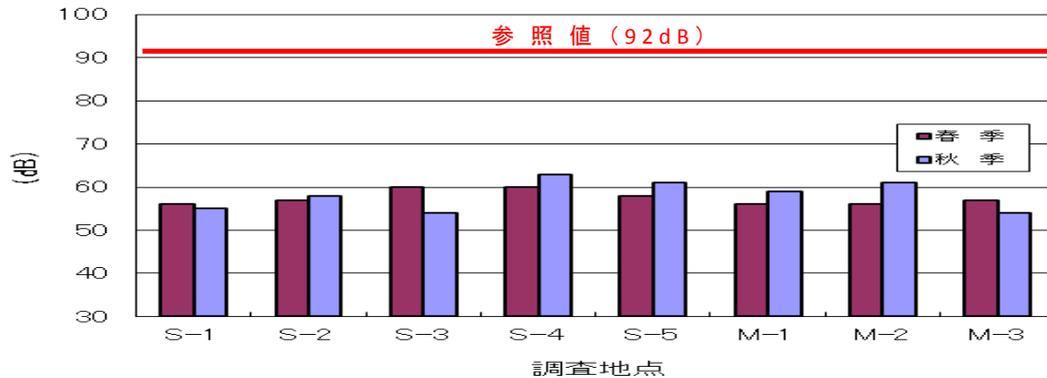
※測定は10月15日9時30分～10月16日7時50分の間で騒音振動測定と同時に、風、自動車、飛行機等の影響が最も少ない時間帯のデータを採用した。

※低周波音レベル計の高さは、風による測定値への影響を避けるため地上0mにて測定した。



2.G特性音圧レベル

G特性音圧レベル



(備考)

心身の苦情に関する参照値92dBを基準線として表示した。

エ 悪臭調査

(ア)官能試験

項目	年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
臭気指数		29	21	20	15	27	30	25	21	25

(備考)

1.各年度における最高値を表示(12地点×2回/年)。

(イ)機器試験

(単位:ppm)

項目	年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
アンモニア		<0.1	0.2	0.4	0.1	0.2	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
メチルメルカプタン		<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
硫化水素		0.028	<0.002	<0.002	0.004	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
硫化メチル		<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.0009	<0.0009	<0.0009	<0.001
二硫化メチル		<0.0009	<0.0009	<0.0009	<0.0009	<0.0009	<0.0009	<0.0009	<0.0009	<0.0009
トリメチルアミン		<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
ノルマル酪酸		<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001
ノルマル吉草酸		<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.00009	<0.00009	<0.00009	<0.00009
イソ吉草酸		<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001

(備考)

1.各年度における最高値を表示(12地点×2回/年)。

2.他に放流水中の悪臭4物質の試験(メチルメルカプタン、硫化水素、硫化メチル、二硫化メチル)を実施している(2回/年)がすべて報告下限値未満であった。

オ 水質調査
生活環境項目

(単位:表示の無いものはmg/L)

項目	年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
透明度 (m)		2.0	1.5	1.5	1.0	1.3	1.5	0.7	1.0	1.0
pH (-)		7.9~8.2	7.9~8.3	7.8~8.0	7.8~8.1	7.8~8.1	8.0~8.1	7.9~8.1	7.9~8.1	7.9~8.2
溶存酸素		5.8~9.6	5.8~10	5.5~9.7	5.2~9.4	5.0~10	6.9~10	5.8~10	5.8~9.2	6.8~9.7
COD		3.0	3.0	2.9	3.1	2.5	3.2	2.7	2.0	3.0
全窒素		0.64	0.4	0.38	0.44	0.56	0.36	0.47	0.34	0.46
全りん		0.094	0.06	0.07	0.043	0.050	0.054	0.055	0.055	0.041
残留塩素		<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.01	0.018	0.020	0.015	0.009
浮遊物質		12	4	8	5	4	23	8	10	6
大腸菌群数(MPN/100ml)		5,400	940	1,300	350	1,700	1,100	2,400	490	700

(備考)

- 放流口付近(St.12)における各年度の最高値。
(5地点×4回/年。ただし、透明度は最低値、pH・溶存酸素は範囲を表示。)
- 他に健康項目等28項目の調査をSt.Aにて実施している。全て環境基準に適合していた。

カ 底質調査
乾泥あたり含有量

(単位:表示の無いものはmg/kg)

項目	年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
C O D (mg/g)		6	5	4	7	7	13	7	7	5
n-ヘキサン抽出物質		83	200	200	100	51	270	90	290	350
カドミウム		<0.1	0.1	<0.1	0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
全シアン		<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1
鉛		10	15	5	12	12	6	7	7	5
六価クロム		<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1
砒素		3.6	3.5	5.9	2.3	1.8	5.0	4.4	5.0	5.9
総水銀		2.60	0.18	0.33	0.68	0.33	0.15	0.55	0.80	0.53
アルキル水銀		<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
ポリ塩化ビフェニル		<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
全窒素 (mg/g)		1.0	0.4	0.3	0.7	0.7	0.6	0.4	0.4	0.5
全りん (mg/g)		0.30	0.40	0.30	0.30	0.30	0.3	0.3	0.3	0.3
硫化物 (mg/g)		0.06	0.10	0.08	0.28	0.05	0.05	0.05	0.11	0.02
含水率 (%)		25.6	24.7	28.0	25.3	26.5	24.9	24.9	24.1	24.6
強熱減量 (%)		2.8	3.0	2.8	3.4	3.4	3.7	3.4	3.5	3.2
ダイオキシン類(pg-TEQ/g)		3.0	3.0	3.2	3.7	3.6	2.9	1.8	2.2	2.1

(備考)

- 放流口付近(St.13)における調査結果(1地点×2回/年)のうち最高値。
- 他に溶出試験7項目(カドミウム、鉛、砒素、総水銀、アルキル水銀、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン)を実施している。すべて報告下限値未満であった。